

## 申し入れ書

沼津市議会市民クラブは、勤労市民は基よりすべての市民が幸せでいられる沼津市を目指して活動しています。

また、沼津市を今以上に輝かせるための諸事業は、早急にかつ強かに推進していく必要があると考えています。

平成26年度の予算編成について、私たちが詳細に検討してきたことについて要望事項として取りまとめましたので、予算に反映させていただくよう申し入れます。

平成25年11月12日

沼津市長  
栗原 裕康 様

沼津市議会 市民クラブ  
代表 鈴木 秀郷  
二村 祥一  
渡部 一二実  
原 信也  
梶 泰久  
深田 昇

# 26年度予算編成への市民クラブ要望

## 重点要望

- 1 沼津駅周辺総合整備事業を着実に推進する。
- 2 地震津波対策は県第四次地震被害想定にも対応できるものとする。
- 3 新たなゴミ焼却場など処理施設の建設を推進するとともに、最終処分場の今後の方針を決定する。
- 4 2020年東京オリンピック・パラリンピックを活かして本市交流人口を増やす。
- 5 空き家問題について、条例制定も含め対策を強化する。

## 一般要望

### 1 暮らしを守る施策の推進

- ① 新たなコンポストの検討と小型家電リサイクルを推進し、市民のためのゴミのリサイクル社会を目指す。
- ② 水源涵養、治山・治水対策を含めた緑化推進と森林整備及び環境ボランティアへのサポートをしていく。
- ③ エコ活動への支援制度を継続する。
- ④ 環境にやさしい公用車の台数増を図る。
- ⑤ 新婚家庭が沼津市に住みやすくするための住宅施策を実施する。
- ⑥ 情報技術を駆使し、市役所窓口サービスの拡充を検討していく。
- ⑦ 自転車に関連する交通事故の軽減を図り、歩行者の安全も確保する。
- ⑧ 隣接校選択制における様々な問題の解決を図るとともに、自治会活動等に支障がある場合は、制度の廃止も検討する。
- ⑨ エネルギーマネージメントを研究し、環境政策に活かす。

### 2 福祉を充実させる施策の推進

- ① 在宅介護を支援するための市独自の施策を検討する。
- ② 高齢者の生きがいづくり健康づくりの継続実施と交流の場を提供するとともに、高齢者世帯・高齢者の一人住まい世帯への日常生活支援を充実させる。
- ③ 放課後児童クラブの施設の改善と拡充を図る。
- ④ 学校支援員・相談員・司書等の増員を図る。
- ⑤ 介護現場へのロボットセラピーの導入を検討する。

### 3 暮らしを充実させる施策の推進

- ① 特色ある教育内容の沼津市立高校づくりを推進する。
- ② 文化関連施設の在り方を検討し、博物館、美術館の設置を推進する。
- ③ スポーツを主管する部署の在り方を検討していく。
- ④ 市外の人との交流の活発化を図るためにも、早急に総合体育館を建設する。
- ⑤ 公共施設の照明のLED化に取り組む。

### 4 街づくりの施策の推進

- ① スマートインターチェンジの建設にともなう取り付け道路の安全性を確保する。
- ② 公共施設の駐車場対策を検討する。
- ③ 片浜工業地域のインフラを整備する。
- ④ 雇用創出を目指し、起業支援や企業誘致活動を積極的に推進する。
- ⑤ 各種方策（沼津ブランド、ゆるキャラ、B級ご当地グルメ等）を展開及び海の有効利用による観光振興を積極推進する。
- ⑥ プラサヴェルデの活用におけ、街に人を集める施策を検討する。
- ⑦ エネルギーの地産地消へ向けた調査・研究を推進する。
- ⑧ 世界ジオサイト登録に向け、地域ビジターセンターの新設を検討していく。
- ⑨ 土地活用・利用については、様々な角度で検討していく。
- ⑩ 下水道を計画的に整備する。

### 5 行政の効率化の推進

- ① 市から自治会への依頼業務の軽減を図る。
- ② 電子納税システムの導入等も含め、市民が税の申告・納付を簡易にできるようにする。
- ③ 関係する各部各課の連携を深める。
- ④ 周辺市町との連携をはかり、将来的に政令指定都市を目指す。
- ⑤ 税収以外の本市収入増を図る施策を実施する。

以上